

第6回 沖縄県高校生介護技術コンテスト実施規則

1. 目的

課題に対する介護技術を競い、介護技術力を高めるとともに、様々な介護の場面において、適切かつ安全に支援できる資質と能力を育成することを目的とする。また、生徒同士の交流を深める場とする。

2. 運営主体

沖縄県高等学校福祉教育研究会事務局・沖縄県高校生介護技術コンテスト実行委員会

3. 実行委員会

当該年度の事務局を長とする本県高等学校福祉教育研究会会員および出場予定校職員代表者により構成し、協力してコンテストの企画・運営にあたる。

4. 競技内容

(1) 以下の2部門で競技を実施する。

【部門1】 ベッドメイキング

出場資格：2人1組（+控え選手2人）

課題：ベッドメイキング

時間：7分

*ベッド、床頭台、マットレス、マットレスパット等は実行委員会にて準備する。

*次の使用物品は各校で使用しているものを持参すること。

①下シーツ ②防水シーツ ③横シーツ ④上シーツ ⑤枕 ⑥枕カバー ⑦タオルケット

【部門2】 課題に対する介護技術

出場資格：2人1組（+控え選手2人）

利用者役：競技部で協議し委嘱する（発表校の関係者にならないように調整する）

課題：エントリー校へ6月1日に発送（予定）

時間：実技・・・・・・・・・・7分

ディスカッション・・7分（アピールタイム3分、質疑応答4分）

*必要物品は実行委員会にて準備する。

(2) 選手は所定の位置で競技を開始し、競技を終えたその場所で終了を告げる。

(3) 制限時間内で競技は終了する。

5. 審査員

(1) うらそえ介護福祉士会・福祉系上級学校等より3名選出

(2) 県内高等学校福祉科教員より2名選出

(3) 上記(1)(2)で審査員を構成する。

6. 審査基準

(1) 主催事務局、競技部によって作成された審査基準に準じて評価する。

7. 審査方法

(1) 審査方法は、プレイスナンバー方式に準じて行う。

(2) 競技の審査は、制限時間内に行われた競技内容のみを対象とする。

(3) 審査結果が同点の場合は、審査委員長と副審査委員長が協議を行い決定する。同点の結果、協議により決定した旨も公表する。

8. その他の事項

- (1) 競技方法及び審査結果に対する異議は受け付けない。
- (2) 競技に使用する物品は指定されたもの以外は使用しない。
- (3) 出場順は大会前日に出場選手による厳正な抽選により決定する。
- (4) 使用物品の写真はエントリー校へ発送予定の課題にて掲載する。
- (5) 競技に係る全ての質問は、コンテスト開催1カ月前を目途に競技部で取りまとめる。回答は質問のあった当該校へメールで通知する。質問に関しては後日、指定された方法によって提出すること。(期間厳守)
- (6) 審査後の評価については当該校にのみ公開する。
- (7) 事前説明会・抽選会・競技会場見学などの詳細はエントリーした学校へメールにて通知する。
- (8) 事前説明会及び当日のビデオやカメラの撮影は競技に支障のない範囲(フラッシュ厳禁)で可とする。
- (9) 九州地区高校生介護技術コンテストへの推薦生徒は、原則、本大会のエントリー選手とする。
- (10) 台風等により開催が延期された場合は、事務局の指定する予備日に実施する。但し、会場の変更もあり得ることとする。

9. コロナ感染防止対策について

- (1) 沖縄県高文連ホームページに掲載している、「新型コロナ対策ガイドライン」のページより「新型コロナウイルス感染症に係る高文連主催大会実施ガイドライン」をよく読み、感染対策を徹底すること。
- (2) 参加する生徒は、(1)と同ページに掲載されている「保護者承諾書(事前提出)」「健康観察シート(当日提出)」「健康状態申告書(当日提出)」を記入し、引率教諭に提出すること。様式は県高文連WEBサイトからダウンロードすること。
- (3) 沖縄県高文連ホームページ内「福祉」に掲載された「沖縄県高等学校介護技術コンテスト【新型コロナウイルス感染症対策マニュアル】」も読み、感染防止を徹底すること。
- (4) 今大会は無観客大会であり、エントリー生徒及び引率教諭、大会役員以外は施設内への入場を禁止する。
- (5) 今大会は、当日のLIVE配信、後日オンデマンド配信(期間限定)を行う。リンク先については、後日、高文連ホームページにて周知する。出場選手は、選手氏名報告時に「肖像権に関する同意書」も提出すること。